

日本青年館の工事

木村榮二郎

建設の趣旨

プラン

日本青年館を建設する事になりました趣旨は別項定礎板の文面にもあります様に大正九年十一月攝政の宮から全國青年に對し優渥な御令旨を賜はりましたについて時の内相床次竹次郎氏の肝煎りで全國二百餘萬の青年が自分の勤勞と節約とに依て得た金を醸出した青年の中心機關となるべき一つの建物を造る事にしたのが因であります。

各青年が醸出した金は約百八十萬圓であります。がそれは皆火の出る様な労動や血の流れる様な勤儉によつて得た零細な金の集まりであります。

他の富豪連の醸出金による何々俱樂部何々會館などいふ種のものとは大いに意義を異にしたものであります。

幸ひにして此の舉を美し明治神宮奉贊會では其の外苑敷地の一部を割いて永久無償で日本青年館に貸與する事になりました。場所は元の青山練兵場の西隅歩兵四聯隊の傍であります明治神宮の大競技場と聖德記念繪畫館とを指揮の間に控えた誠に絶好の敷地であります。

青年館を愈建設する事になりましたが全國青年の中心になる建物でありますからその目的に添はなければなりません、その爲めには

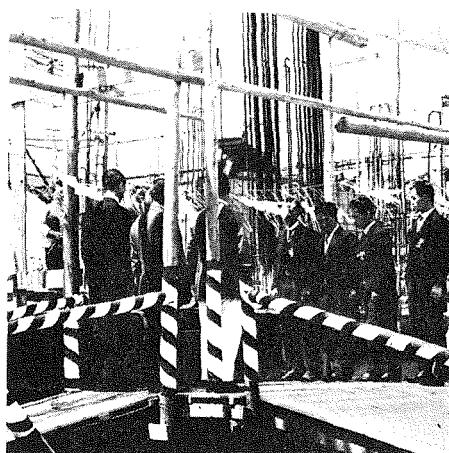
第一青年團の事業を直接に行ふ事務所がります次ぎには地方青年が出京した場合利用し得る様な宿舎の設備をする事にし、第三には全國青年が互に所信を披瀝し抱負を述ぶべき一大會堂をつくる事にしたのです。

それで青年館のプランは別項平面圖にもあります通り大體事務所の部、

宿舎の部、講堂の部

三つに別かれて居ります。事務所は第一階北半を占めてあります受付應接室圖書室倉庫等が附屬して居ります、大講堂はその左で上の二階以上を占めて居ります、二層の棧敷がありまして定員約千五百人此の種の建物としては

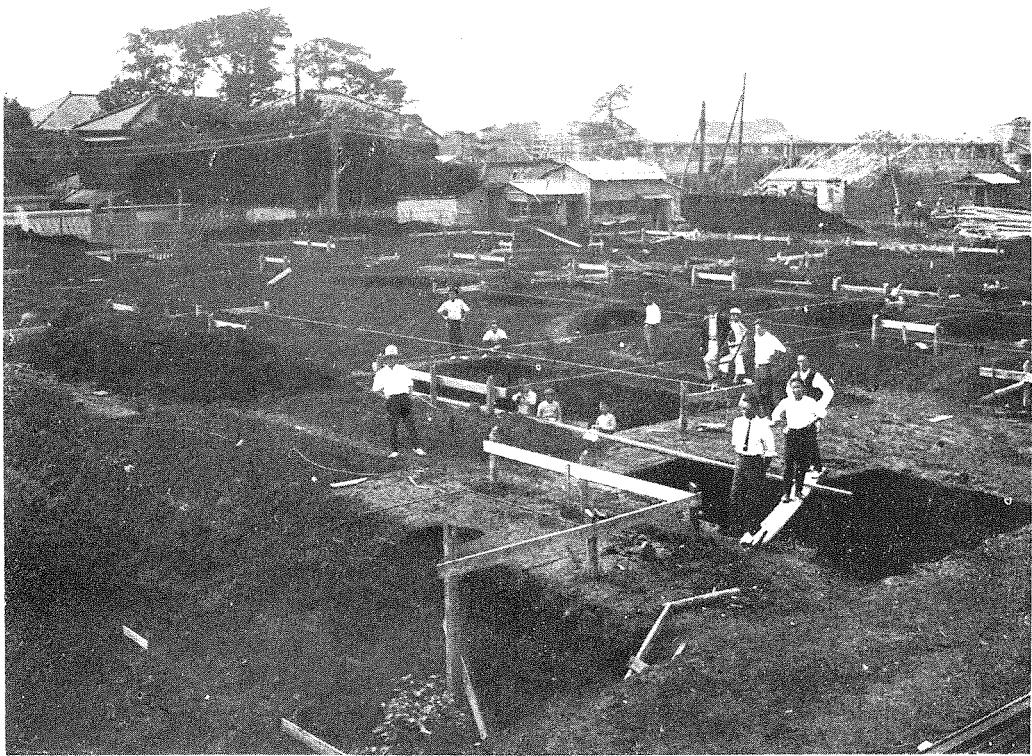
割合に廣い舞臺を持て居ります。演説會や活動寫眞ばかりでなく、七八十人のオーケストラやページェント簡単な演劇位は出来る方がいいと考へたからであります。



(1) Laying the Corner Stone.

(1) 大正十三年六月三日日本青年館定礎式下は定礎板表面の記録

日本青年館		大正十三年六月三日定礎	本館ハ大正九年十一月二十二日
同	同	頤園正三位勳一等法學博士	皇太子殿下ヨリ 青年ニ令旨ヲ
正三位勳一等法學博士	正三位勳一等功三級男爵	賜リタルコトヲ記念セムカタメ全國	青年ノ醸出金ヲ以テ建設ス
正四位勳二等功三級男爵	正四位勳二等法學博士	日本喜徳郎	本館ハ大正九年十一月二十二日
正四位勳二等功三級男爵	正三位勳二等法學博士	床次竹二郎	同
正三位勳一等功三級男爵	正三位勳二等法學博士	岡野敬次郎	同
正三位勳一等功三級男爵	正三位勳二等法學博士	高田早苗	同
正三位勳一等功三級男爵	正三位勳二等法學博士	鎌田榮吉	同
正三位勳一等功三級男爵	正三位勳二等法學博士	中橋義一	同
正三位勳一等功三級男爵	正三位勳二等法學博士	後藤五郎	同
正三位勳一等功三級男爵	正三位勳二等法學博士	水野新平	同
正三位勳一等功三級男爵	正三位勳二等法學博士	木村榮二郎	同



(2) 日本青年館建築工事基礎根切

(2) Preparing for the Foundation Work.

寫眞の右上の遠景が今の競技場大スタンドであります

講堂部には外に喫煙室、大食堂、大集会室等があります。

宿舎部は南半全部を占めて居ります一階には事務室、食堂、賣店、娯楽室、休憩所等があり二階以上は皆寝室とそれに附隨した倉庫、雜用室、洗面所等で寝室の大部分はコルクの上へ薄縁を敷いた和風のものであります。

この宿舎部即ち南半だけは地形の關係上地下室がございますのでそこへ調理室、機器室、浴場、變電室、傭人室、理髮室等を設けました。

各室の面積は次の様であります、平面圖を御参照願ひます。

エ レ ベ ー シ オ ン

青年館のエレベーションは館の趣旨が趣旨で

ありますから極質素な華美をさけたなるべくこつしりした氣分を出す様につごめました。北は講堂が二階にありますので外から直に入れる様に馬車廻しと大階段室を設けました之が可なり建物の雄大さを助ける事になりました、此方を正面としてエレベーションを設きました。

建物は二階窓下全部高徳石積みにいたしました石も叩たかずして瘤出しにしました、それから上はタイル張りにしましたタイルは色を揃えず、然かも全然違ふ二種類のものを出鱈口にはらせました、タイルの表面も私自身で原型を造りまして特種な仕上げにいたしましたもので割合に面白い結果を得て居ります。それは大體をキャピタルの寫眞で御覽願ひますタイルから上は全部人造石仕上で圖のベラン

ダーもキヤビタルも同じ材料であります。

諸 設 備

焼房通風換氣。講堂だけは新鮮な空氣を送り天井から排氣をするにいたしました。

焼房は上管を五系統に分けまして多少設備費はかかりますが経常費を節約し得る様にいたしました、ボイラーはセクシナルが四臺、此の外、炊事用の堅ボイラーが一臺あります。給水給湯及消火栓。上に水槽二つ備へ一旦それへポンプで揚水しますそから各水栓へ配る様に致しましたが地階と一階の一部は水道直結の所もあります。

湯は機器室タンクから送る様にしましたが大浴槽だけは直接蒸氣も送れる様にしました消火栓は全部で九ヶ所非常報知装置で押しボタン一つで直ちにポンプを動かし得る様になつて居ります。

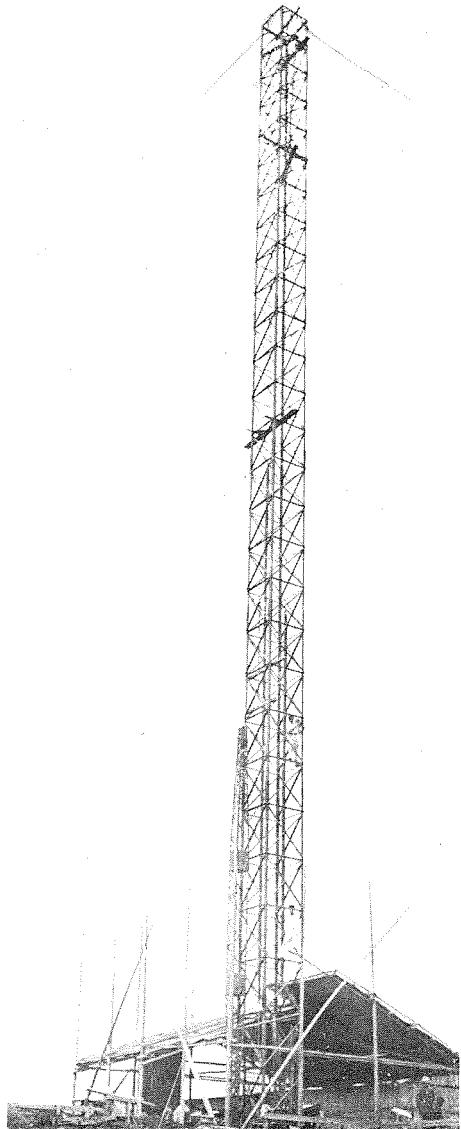
衛生工事。便所は凡て水洗式二ヶ所に大きな汚水の淨化槽を設備致しました。

電燈電話電鈴。配線の大部分は床スラブの上



(4) 同基礎假枠組立

(4) Reinforced Foundations.



(3) 日本青年館工事用タワー組立

(3) Assembling the Concrete Tower.

端へコンクリート打ちの際埋め込みました絶縁試験の結果は大變良好であります。
その他の設備は略します。

工期及工費

工 期

大正十一年十二月起工

大正十四年十月竣工

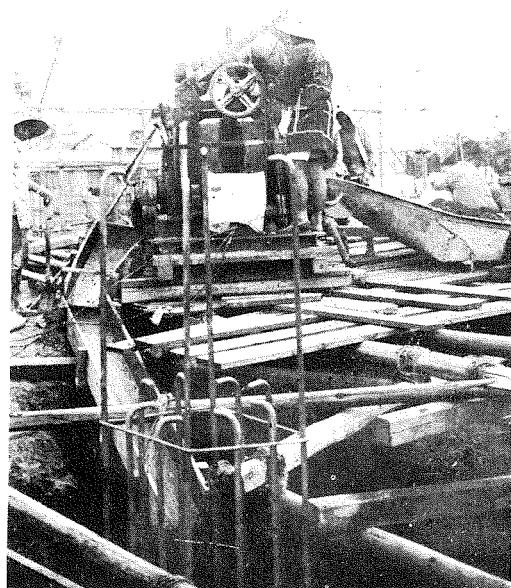
(但し震災にて半年休止)

工費(但し豫算)

總額	一、六二〇、〇〇〇圓
内訳	
一建築費	一、二四五、五〇七圓
敷地整理費	一三、六八四圓
建築工事費	一、〇四九、四六〇圓
煙房通風工事費	七〇、六〇七圓
電氣工事費	六五、二五六圓
衛生工事費	四六、五〇〇圓
二家具費	七〇、〇〇〇圓
三造庭費	五、〇〇〇圓
四外圍工事費	一三、〇〇〇圓
五工事雜費	四六、七四七圓
六豫備費	九九、七四六圓
七事務費	一四〇、〇〇〇圓

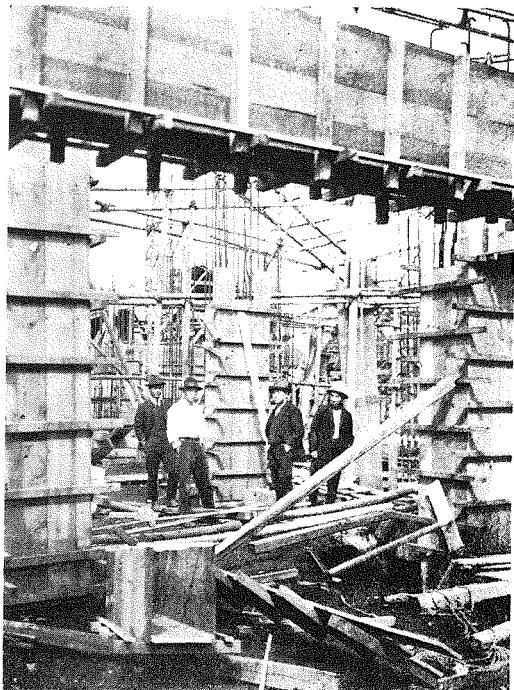
各工事擔當者

建築工事	戸田組
外圍工事	上達喜三郎



(6) 同 基礎コンクリート

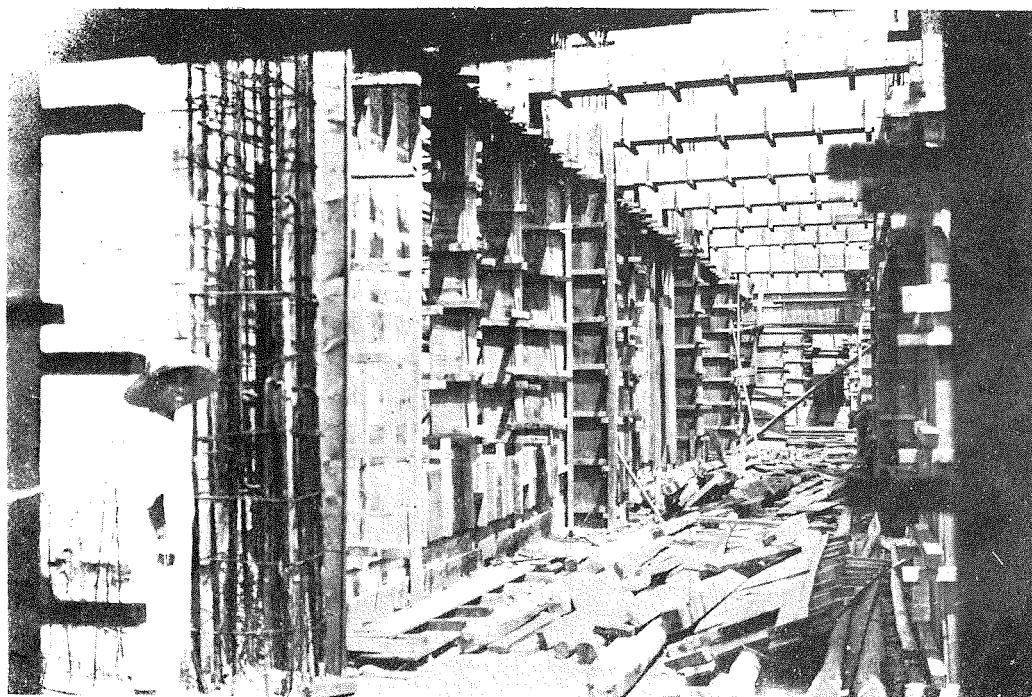
(6) Pouring the Foundation.



(5) 日本青年館工事地階假枠

(5) Concreting Walls, Ground Floor.

煙房通風工事	高砂煙房工事株式會社
蒸氣炊餐工事	高砂鐵工所
衛生工事	須賀商會
電氣配線電話電鈴工事	内田商事會社
照明器具製作	内田商事會社
(舞臺用)	
家具製作	川北企業會社
	川部電氣會社
	三越吳服店
	高島屋吳服店
	福澤商店
	吉村木工所
	秋田木工株式會社
	東京鋼鐵家具製作所
(圖書室)	間宮商店
(理髮室)	岡崎商店
窓掛ブラインド	白木屋吳服店

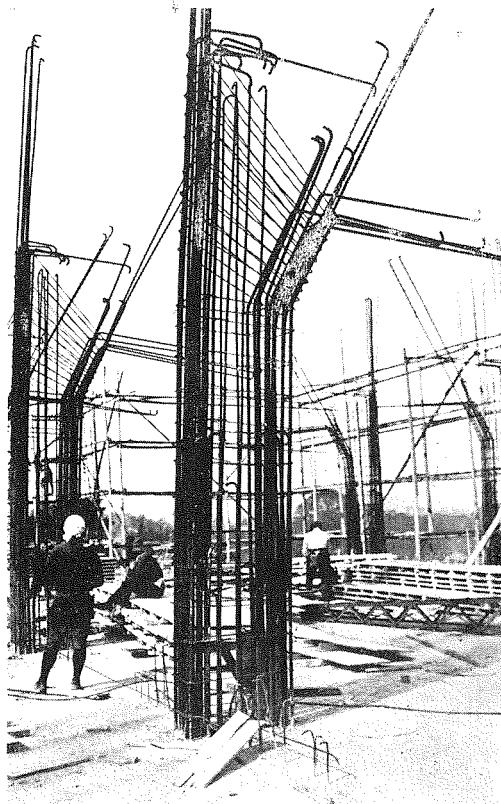


(7) 日本青年館工事二階ベランダー下枠假組立

(7) Reinforced Floor Beams.

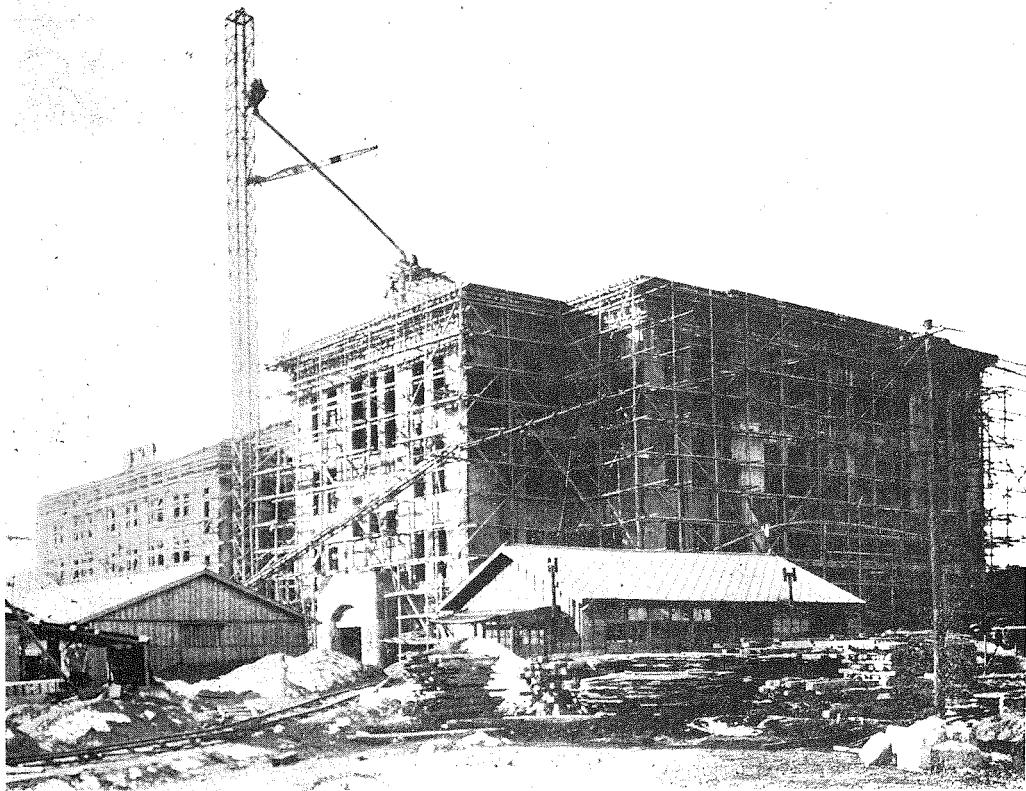
設計及監督者

顧問	工博 佐野利器
工務主任	小林政一
設計監督	木村葵二郎
	毛利貞雄 三宅勤
	清水彌一 赤松精治
	日井六郎 星野譽一
	竹田司 石橋三四二
	河口榮 大沼伊三郎
	吉田喜八郎
暖房通風衛生工事	工博 竹村勘悉
電氣工事	大山松次郎
(舞臺部)	林田榮藏 遠山靜陽

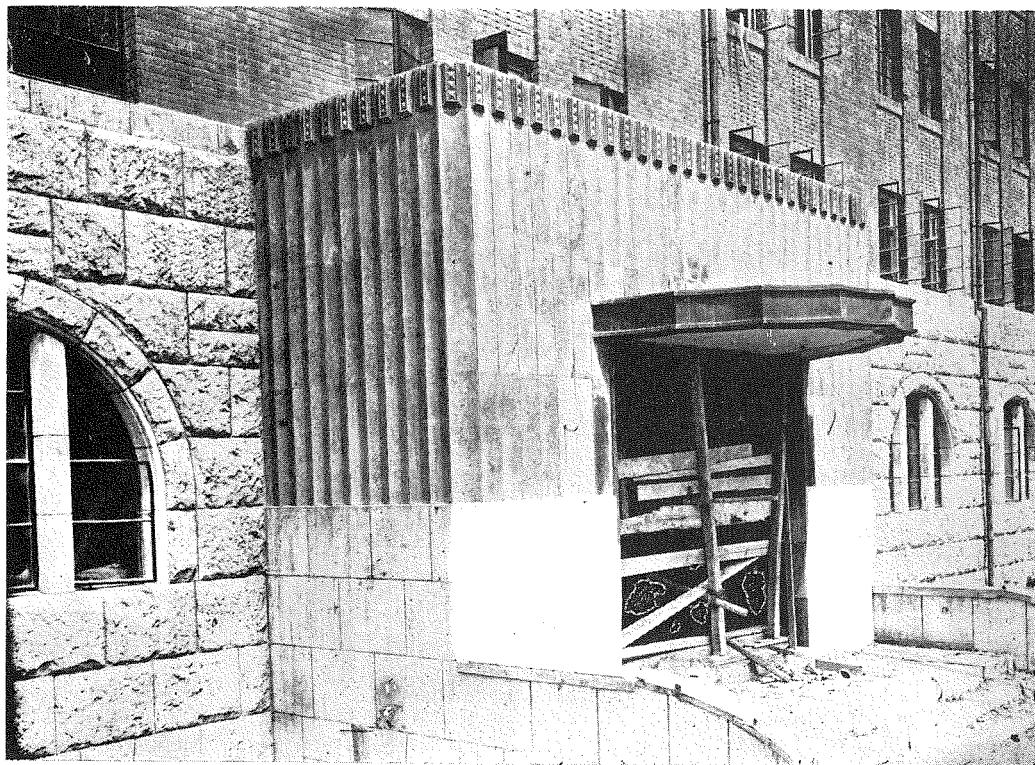


(8) 同 中講堂鐵筋組立スパン六間二尺

(8) Column Reinforcing for Central Hall.



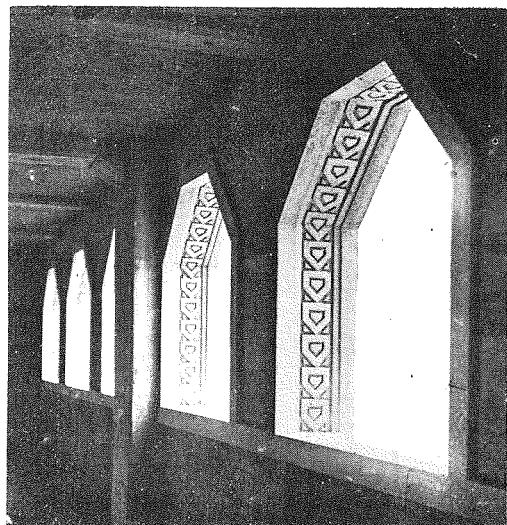
(9) 日本青年館工事(大正十四年一月十三日) (9) Nearing Completion.



(10) 同 宿舍入口内部工事中

(10) Side Entrance.

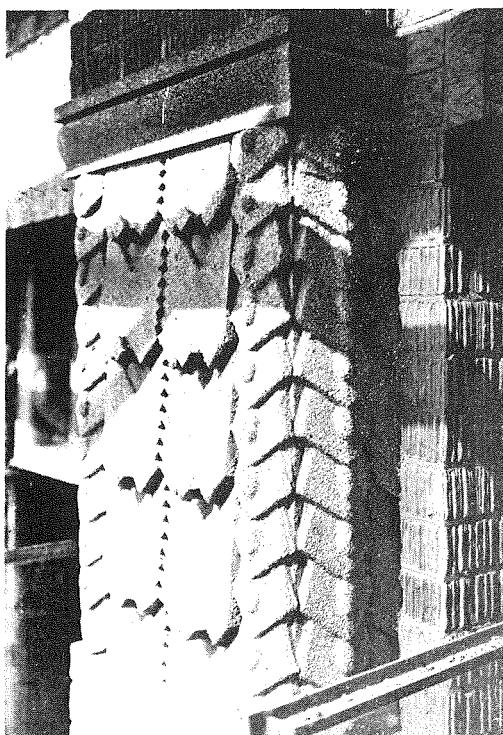
講堂の部と宿舎の部との中間屋上は其高さに於て凸凹になつて面白くないから其所へ此の窓に見る様な氣持の快いペランダーの廊下が造られたのです之は設計者が特に案をこらされたものでしやう（記者）



(11) 日本青年館の階上中廊下に於ける

ペランダーの窓

(11) Art'stic Windows.



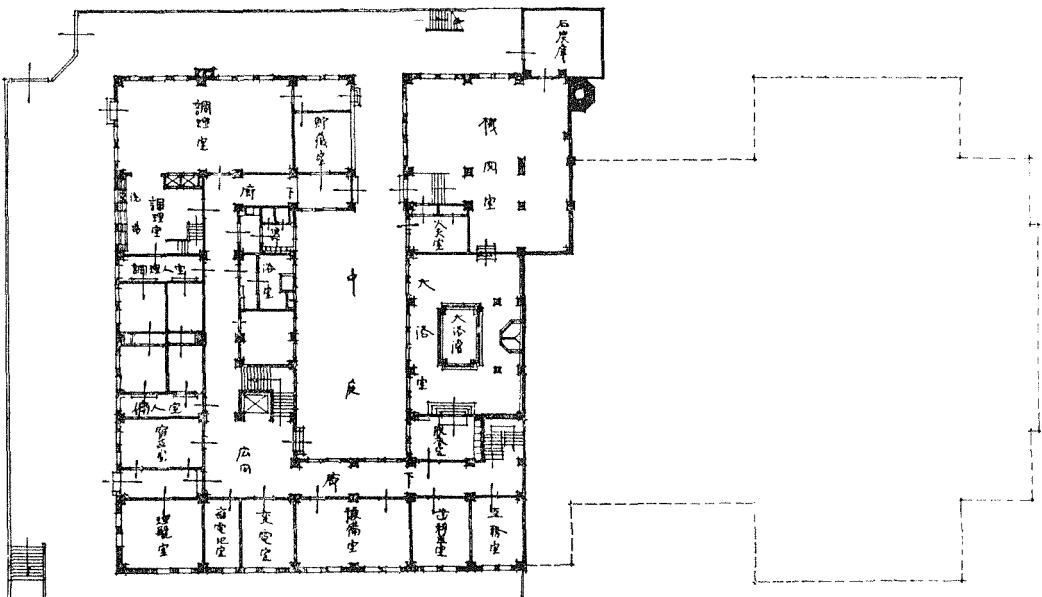
(12) 同 講堂正面キヤセタル(七本の内其一)

(12) Fancy Column at Entrance of Hall.

工事能率

丸太を縦横に組んだ足場は日本の工事にはなくてならぬものであるが、あの材料費と工費と而して丸太足場を永く使用してゐる間に繩のユルミから時々危険な事故を生ずる事を考へて、新時代の工法としてはもつと能率的なものを使用しなければならぬ筈であるが、帝都の數ある堂々たる建築工事が依然として丸太足場で闇んでゐる事は何故であらうか。

コンクリート工事のエレベーターからのチエートを支へるに又實に風流？な丸太足場を組立てたるは又以て不經濟な奇觀である。設備費に資本を固定さす事の不經濟よりも、危険にして耐久力なく非能率的な此等の一部分の工法が他の全體の工事に如何に不經濟に影響しつゝあるかを考へねばならぬ。



地圖階平面圖

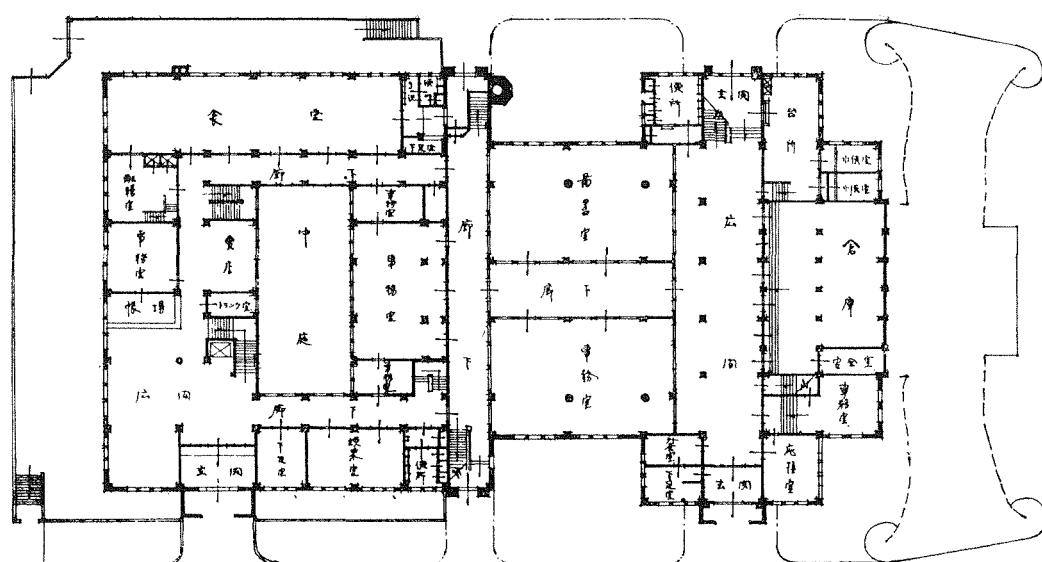


(13) 地中階平面圖

(13) Basement Plan.

室 配 置 表

地下室（宿舍）部



平面圖面圖

(14) 第一階平面圖

(14) First Floor Plan.

一階(講堂及事務所)

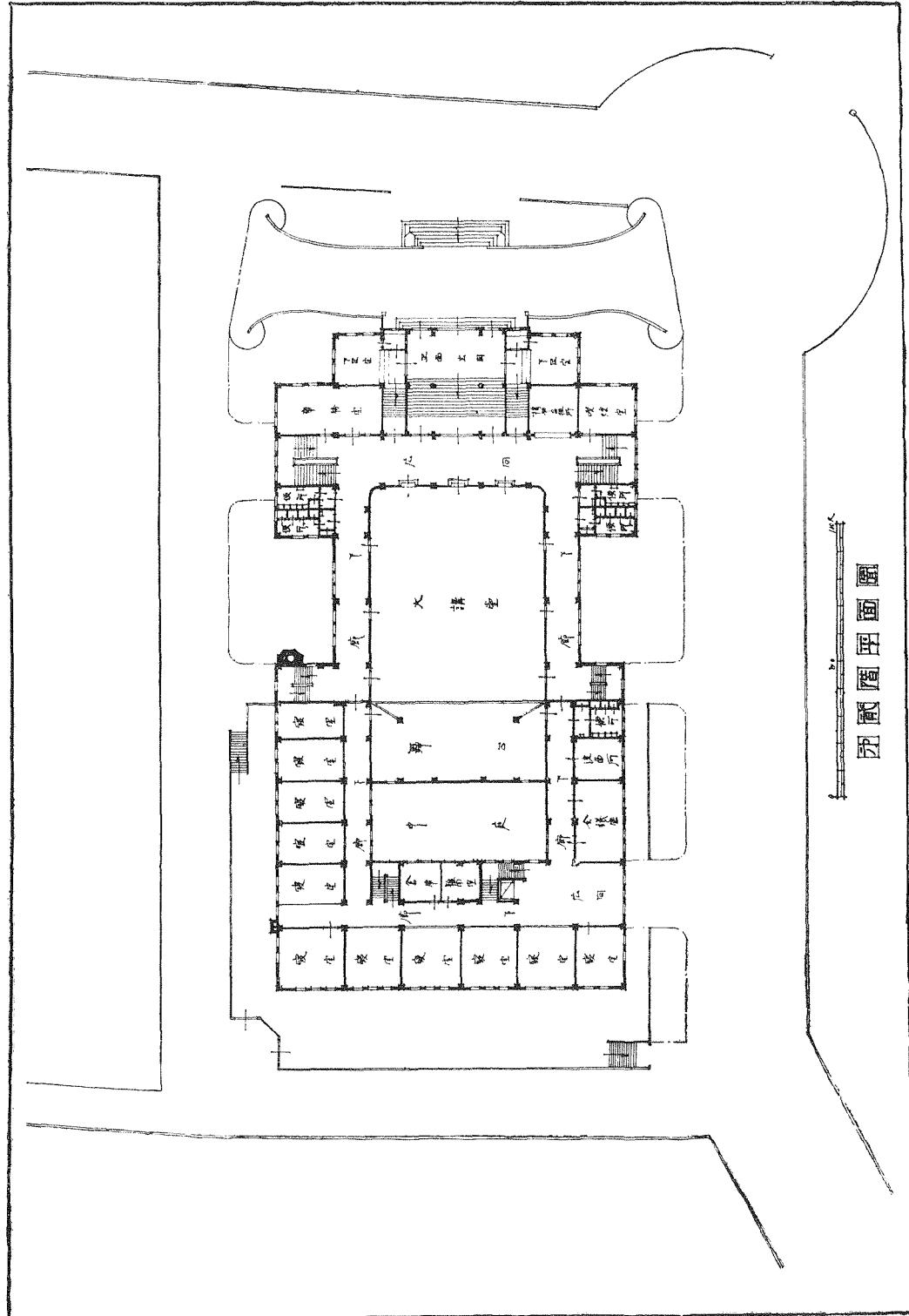
室名	室數	坪數	合計
玄 關	一	五、四〇	
事 務 室	五	一〇六、六〇	
圖 書 室	一	五七、六〇	
湯 沐 所	一	一九、五〇	
小 使 室	一	九、〇〇	
下 足 室	一	一〇、五〇	
外 套 室	一	四、五〇	
應 接 室	一	一〇、五〇	
倉 所	一	五四、〇〇	
便 所	一	一〇、五〇	
ダ ク ト 室	一	二、六〇	

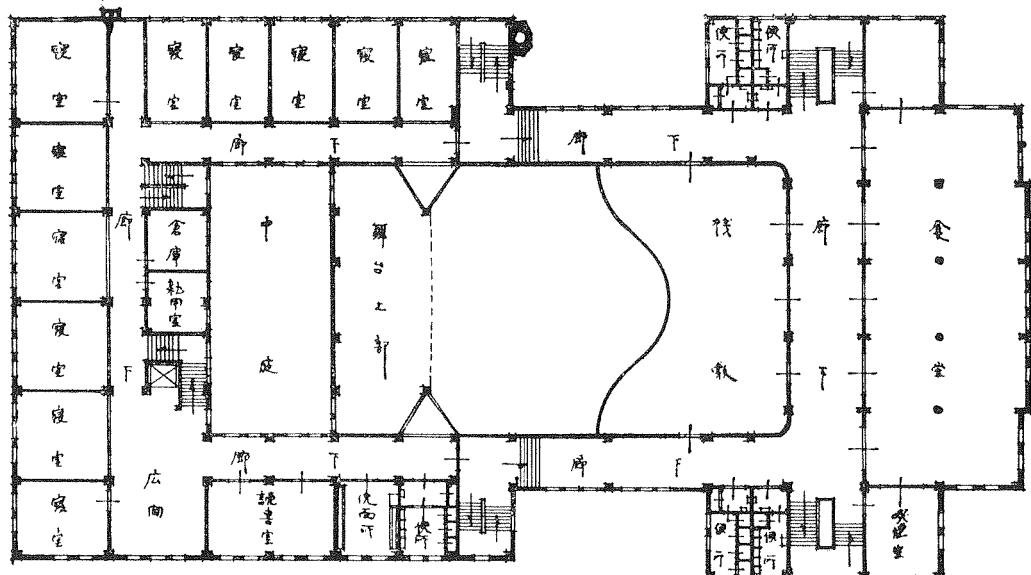
一階(宿舍)

室名	室數	坪數	合計
玄 關	一	一二、〇〇	
事 務 場	一	一二、二五	
帳 休 室	一	五、九五	
娛 樂 室	一	一〇、五〇	
下 食 堂	一	一五、〇〇	
食 喫 廳	一	七、五〇	
膳 煙 店	一	四五、〇〇	
宿 舍	一	一〇、五〇	
便 所	一	八、八〇	
便 所	一	八、七五	
便 所	一	五、二五	
便 所	一	二、五六	
便 所	一	二、五〇	
便 所	一	二、七五	
便 所	一	一〇、五〇	

(15) 第二階平面圖

(15) Second Floor Plan.





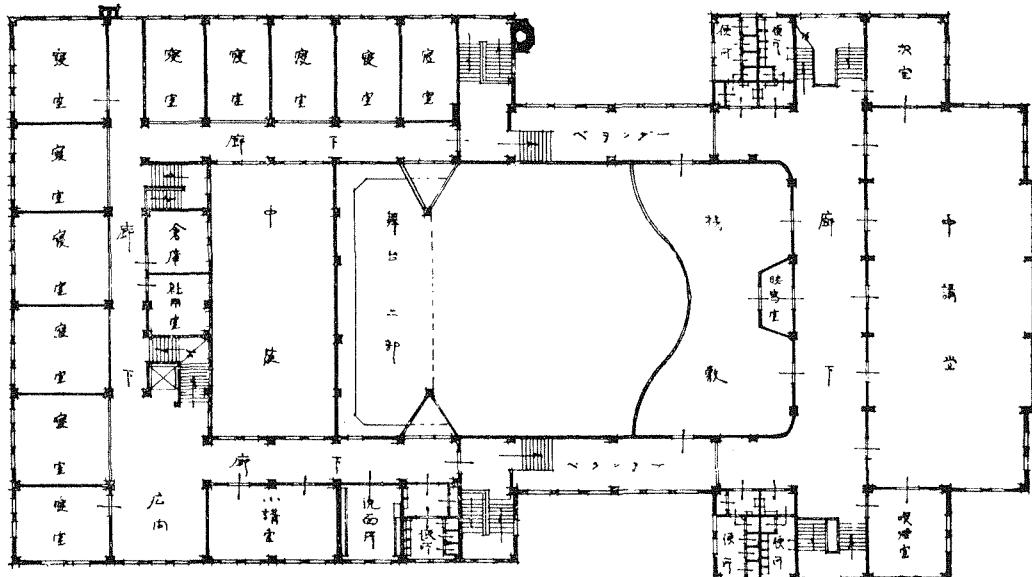
第3階平面圖

(16) 第三階平面圖

(16) Third Floor Plan.

0 50 100

二階（講堂）		二階（宿舎）		
室名	室數	坪數 坪	室數	
正面玄關	一	三七、八〇	一	七
大講臺	一	一四三、〇〇	四	六八、二五
舞臺	一	五五、〇〇	一	四四、五〇
下足	二	一八、〇〇	一	六、二五
帶品預室	一	九、〇〇	一	五、七五
喫煙室	一	一〇、五〇	一	一二、〇〇
務室	一	一九、五〇	一	七、五〇
子人便室	二	一〇、五〇	一	七、五〇
受事付室	二	一〇、五〇	一	一五、〇〇
三階		三、二四		八五、七五
大大講堂	一	五五、二五	一	二七、〇〇
配喫男女	一	九〇、〇〇	一	五、七五
食膳室	一	一〇、五〇	一	六、一五
膳煙室	一	一〇、五〇	一	一二、〇〇
子子便室	二	一〇、五〇	一	七、五〇
男女子子便室	二	一一、一〇	一	七、五〇



第四階平面圖

0 50 100M

(17) 第四階平面圖

(17) Fourth Floor Plan.

四階（講堂）

室名	室數	坪數合計
大講堂	一	五二、二五
中講堂	一	九〇、〇〇
喫煙室	一	一〇、五〇
控制室	一	一〇、五〇
男子便所	二	一〇、五〇
女子便所	二	一〇、五〇

四階（宿舍）

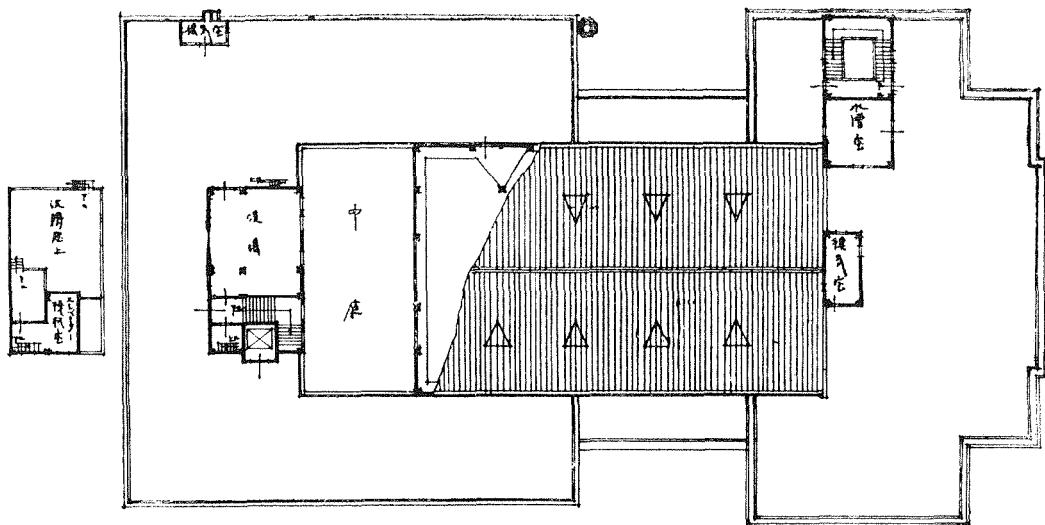
室名	室數	坪數合計
寢室	九	八五、七五
洋休室	二	二七、〇〇
小講堂	一	一二、〇〇
洗面所	一	一五、〇〇
便豫室	一	七、五〇
備用室	一	七、五〇
雜用室	一	六、二五
		五、七五

屋上階（講堂）

室名	室數	坪數合計
水槽室	一	九、〇〇
通風機室	一	四、五〇

屋上室（宿舍）

室名	室數	坪數合計
洗濯場	一	一九、〇〇
昇降機室	一	六、五〇
換氣室	一	二、〇〇



屋上階平面圖

(19) 屋上階平面圖

(19) Roof Plan.

(◆)

日本青年館

新築工事の中

左記工事御下命完成

電燈、照明器具

電話、動力

避雷針

東京市麹町區八重洲町二丁目一番地

内田商事株式會社

工事部

電話中込(長六二九二番一九九〇四番)